

# 児童発達支援クラブ フォルテ

## 事業者向け 児童発達支援 自己評価表

令和2年3月31日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		お子さんの導線を分けたり、複数のグループに分けて活動を行う等して、混雑しないように工夫している。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			利用者人数や活動によって人数配置を換えているが、十分なスタッフ配置ができていると思う。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			日課については、活動の流れや導線の固定化を実施している。併せて、例会にて視覚提示を交えて、その日の活動の流れを伝えている。繰り返し取り組む中で体験的に日課の流れを理解してもらるようにしている。構造化についても、必要な個所について順次導入している。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○		長期休みの間は、児童発達支援と放課後等デイのお子さんの利用時間がバッティングしてしまう為、活動内容や活動場所のすみわけを実施している。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			スタッフについては、年度初めに目標設定を行い、10・3月に自己評価をしている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年アンケートをとり、保護者の方のご意見をいただいている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			以前は、年に1度保護者会を行い年度計画やアンケート結果などを知らせていた。ニーズの変化等により、保護者会への参加者が減少した為、保護者会は行わず手紙等で報告している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		外部専門家としてOTの木村順先生と元八幡学園職員の土橋良太先生をお招きして、支援等に関するアドバイスを頂いている。
適切な支援の	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人全体研修の他、様々な外部や内部の研修を設けている。昨年度からは、外部顧問(作業療法士・木村順)の指導の下、中堅以上のスタッフが他のスタッフに対して、発達や障がい等のテーマに沿って資料をまとめて、プレゼンテーションする研修会も実施している。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	○			一人ひとりの自立に向けた計画を保護者と話し合いながら立案している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			新版K式発達検査等の検査キットを準備している。ただし、標準化されたアセスメントツールについては、検査後に一定期間同一の検査ツールが使用ができないものもある為、使用については慎重に行っている。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインお「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択されその上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインでチェックを行ったが、ほぼ沿って支援できていると思う。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画に沿った支援を実施している。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月案週案日案の作成を行っている。

提供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		活動プログラムについては、日々の取り組みの様子を見ながら、内容を検討している。ただ、「積み重ね」が必要なお子様もいるため、場合によっては「固定化」と、とられてしまう活動もあるかもしれない。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		児童発達支援ではサーキット運動、音楽活動、教材学習を基本プログラムとし、天候に合わせて公園や散歩、買い物等の活動を取り入れている。
	⑰	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝は児童事業所全体で打ち合わせ(児童配慮点など)活動前は各事業所で打ち合わせを行っている。
	⑱	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後、事業所で反省、その後法人全体での反省を行っている。
	⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録は、個人日誌や活動計画に反省まで記録している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行っていただきたいが、相談員は電話が多い。子供のフェースシートを作成して理解してもらう。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		その時関わっているスタッフを複数参加させるようにしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		今年度はそうしたケースはなかったが、必要があれば行う用意がある。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		看護師がいないため、親子一緒にの利用をお願いしている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		看護師がいないため、親子一緒にの利用をお願いしている。
	㉕	以降支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		お子様の情報や支援について、近隣の保育所・保育園や幼稚園等との相互協力を行っている。しかしながら、一部の幼稚園等では運営方針等の都合により、協力が得られないケースもある。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		学校等の情報を共有できるよう心がけている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		センターでの研修にはなるべく参加するよう心がけている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	事業所としては交流事業は行っていないが、幼稚園のプレ保育等の利用先で交流しているケースもある。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	機会はないが、近隣自治会の子ども会との交流はある。
	㉚	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ご利用時に保護者のから話を聞き取る等して、相談にのる体制を整えている。必要に応じて、電話やメールなどで連絡も取っている。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対し家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	現在ペアレントプログラムの導入について準備を進めている。

連携	⑳	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		運営規定については、事業所玄関に配置している。支援内容や負担額については、送迎時や面談、重説で説明をしている。
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			ガイドラインでチェックを行ったが、ほぼ沿って支援できていると思う。
	㉒	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的に茶話会を行っている。併せて、座談会や講演会を行っている。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子ふれあいや就学時前保護者会・動物公園花壇ボランティア保護者交流会などを定期的に行っている。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速かつ適切な対応が、行えるような体制にしている。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信を発行、また年に1度「風のささやき」を発行している。
		㉖	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
㉗		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時に保護者にお子様の様子を伝えたり、必要に応じて連絡を取り合っている。
㉘		事業所の行事に地域住民を招待する当地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域食堂・ひまわりプロジェクトを行い常に近隣住民と交流を図る努力を行っている。
㉙		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			緊急時対応マニュアルをつくり周知している。
㉚		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に3回避難訓練を行う、また非常食を食べる機会を作る。未就学児童については訓練を行っていないが、毎回公園へ行くことで避難場所に慣れてもらっている。
㉛		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			保護者に服薬状況や既往歴などについて書類の記入を依頼している。併せて、毎年、更新を行い状況を把握している。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○			打ち合わせのときに確認して周知する。台所に明記してある。
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			毎月スタッフ会議のときに全体に発表して対処の方法を話し合っている。
	㉞	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			スタッフ自身の知識や技術の向上を目的とした研修を実施している。併せて、様々なスタッフ、見学や実習生を招き入れ、様々な方が訪れる風通しの良い環境を作り、虐待の防止に努めている。
	㉟	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		身体拘束についてのマニュアルを作成。やむを得ず必要な場合は保護者への説明を行ったうえ、許可を得て実施している。